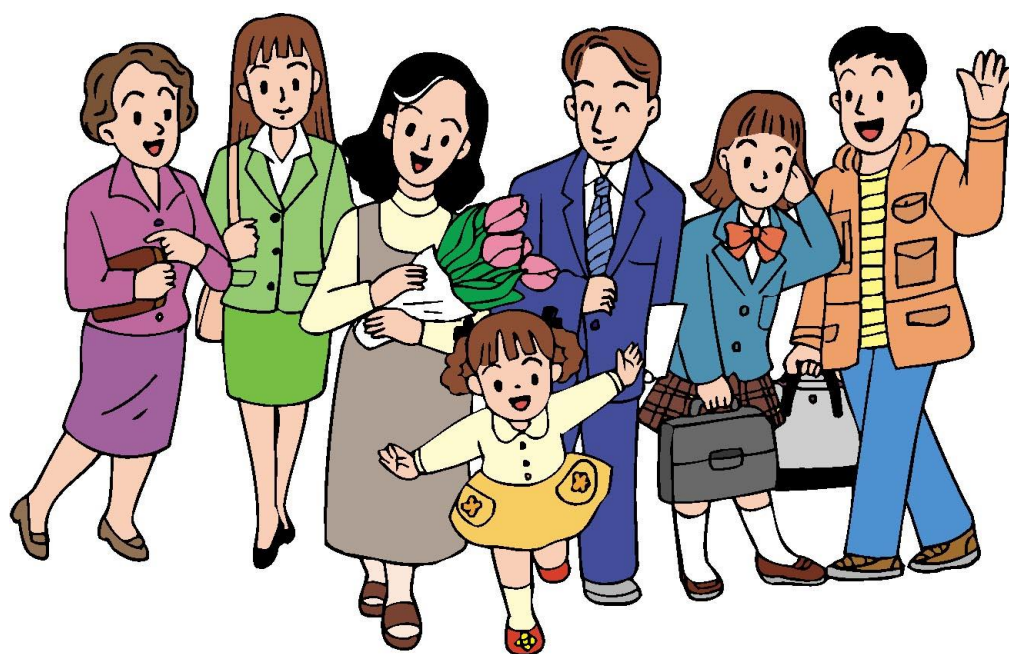


集落行動計画策定の手引き



原 村

令和6年 12 月 (第3版)

第1 集落行動計画策定の意義とねらい

原村は、平成15年12月、住民アンケート調査により合併ではなく自律の村づくりを選択したことを契機に、これまでの「行政主導」の村づくりから、住民参画を基本とした「公民協働の村づくり」を進めています。

長引く経済不況や生活環境の変化などにより、取り組むべき課題は増加していますが、厳しい財政状況の中で課題のすべてを行政サービスで解決することはできません。

そこで、村の活性化や産業振興、若者の定住など、活力のある村づくりを推進していくためには、地域に住むみなさんがむらづくりに主体的に「参加」し、自らあるいは行政などとの協働により、地域の課題解決や魅力の発見とそれを活かした活動を実践することが求められており、そのためにも集落（地区）の計画づくりは大切な取り組みです。

また、集落の計画づくりはもちろんのこと、それに取り組む中で「いかに集落を知り、計画策定の段階から多くの参加を得て、自分たちの計画をつくるか」といった作成過程が今後の活動につながる重要な作業です。

村では、各集落が計画の策定及び実践活動に積極的に取り組んでいただけるよう、課題解決のための実践活動に対する財政的支援をはじめ、助成制度に関する情報提供などを行ないます。

<主な財政支援>

○ 原村集落行動計画推進補助金

地域住民自らが策定する区及び自治会独自の振興計画（集落行動計画）を推進する活動に対して、その費用の一部を補助します。

補助率：10/10（50万円上限、1,000円未満切り捨て）

対象期間：5箇年度

○ 原村地域づくり支援事業補助金

地域の特性や資源を生かした魅力と活力のある地域づくりを推進するため、公益性が高く地域の活性化を推進する活動に対して、その費用の一部を補助します。

補助率：4/5（30万円上限、1,000円未満切り捨て）

第2 集落行動計画の方針

少子化、高齢化、人口減少、暮らしの不安などを踏まえて・・・

これから先、私たちの集落がどうあったらいいのかを考えること。それが「集落行動計画」です。

1. 集落のことはまず、集落で考え、集落で実行しよう。
みんなで集落の暮らしの様子点検から。
2. 集落の課題解決のために頼りになるのは地域に「あるもの」です。
「ないものねだり」から「あるもの探し」へ
〈例〉
知恵、歴史、文化、風景、食、人、もの、お祭りや行事、言い伝えや
昔話、地縁…など。
3. 「何」を活かすことで、どんな暮らしを目指す？課題の解決を図る？
集落づくりの目標、具体的な取り組み、進め方などを考えます。
4. 計画づくりを行なうことで、意識づくり、協働の機会づくりを。
従来は行政への「要望」。これからは、行政との「協働」を提案できる地域
になることが自立への近道。
5. 前提として重要なことは、
 - ① 学習すること・・・地域の歴史や将来について
 - ② 協働すること・・・行政や他との協働や住民に親密性
 - ③ 経営すること・・・地域資源を活かしたコミュニティビジネス

第3 集落行動計画策定の流れ

1. 計画策定に向けての準備

説明会や研修会等において、集落行動計画策定の目的などをご理解いただいたうえで、計画を策定することを決定していただきます。

2. 集落の課題や個性を点検します。

(1) 計画策定及び推進組織の立ち上げ

区会などを中心にしながら、区内の各種団体の代表者などからなる組織等を立ち上げます。

(2) アンケート調査の実施

① 全戸を対象にアンケート調査を実施し、現状や課題、個性などを把握します。

〈内容〉

ア 困っていること、解決したいこと（もの・場所を含みます）

イ 大切にしたいこと、活かしたいこと（もの・場所・動き＝住民活動なども含みます）

② 集落の地図にアンケート調査の結果を書き込み、集落のどの場所にどんな課題や個性などがあるかを整理します。また、必要に応じて現地を歩いて確認します。

3. 課題を解決し、地域の暮らしをよくするために、必要と思うことを話し合います。

(1) 住民のみなさんで、アンケート集計結果や地図の書き込みを見ながら課題を解決するために必要と思われることを話し合います。

〈例〉

- ・この考えに変えていくことが必要／この考えを守ることが必要
- ・この取り組みに力を入れていくことが必要 など

(2) 具体的に取り組みたいアイデアを出し合います。

数が多いほどよいので、よい考えかどうかにとらわれず、どんどん数を出しあうことが重要です。

① この集落の課題を解決し、暮らしをよくする取り組み

（取り組みに活かせるような集落の個性・資源は？）

② この集落の個性をさらに伸ばして暮らしをよくする取り組み

（取り組みに活かせるような集落の個性・資源は？）

4. 出された意見を基に計画（案）をまとめます。

（１）計画の柱を絞り込みます。

- ① 計画の柱は、長い期間にわたって集落のむらづくりを進める上での基本的な方針になるものです。
- ② 具体的な取り組みは、実施することにより終了しますが、計画の柱は基本計画ですから、その達成のために次の具体的な取り組みを再考するうえでのより所になるものです。
- ③ 住民のみなさんが最も重視したいことを基に、計画の柱を考えます。
- ④ 計画の柱は、だれにでも分かりやすい言葉で「ひとこと」で表現することが秘訣です。

（２）計画の目標

計画の目標は、集落行動計画に取り組むことで、最終的にどんな集落にしたいかを表すものです。住民のみなさんの願いを込めてつくりましょう。

（３）支援施策等の検討

課題解決のために実施する事業について、村や県等の支援施策が活用できるかを検討し、事業計画を作成します。

5. 計画（案）を公表し意見を求めます。

（１）各世帯での確認

計画（案）を各世帯に配布し、内容を確認していただきます。

（２）説明会の開催

計画（案）の内容を説明し、意見を求めます。

（３）計画（案）の修正

出された意見について検討し、最終（案）をまとめます。

（４）村との事前協議

最終（案）がまとまった段階で、村との事前協議をしていただきます。

6. 集落行動計画の承認

（１）村との事前協議が終了したら、区総会等で計画を承認していただきます。

（２）区総会等で計画が承認された段階で、村へ本協議をしていただきます。

第4 集落行動計画の参考例

第1 集落の概要

1. 自然・地形的背景

〇〇区は、原村の中心地からわずかに南西に位置し、上と下に二分され、さらに下は日向と日陰に分けられ、それぞれまとまりをもっています。

〇〇区の中央部は比較的平坦地で水田が開かれ、南と北の尾根は畑として耕され、中心地は、ほ場整備が終了しています。

区内の地図などの資料

2. 社会的背景

〇〇区の行事や共有地の作業及び区内の出払いは、常会や組などを単位として住民自らが協力して行っています。

〇〇区は、村の中心地に近い地形的条件により、宅地開発が進み村外からの転入者多く人口も増加傾向にあります。

区内の統計などの資料

3. 交通的背景

〇〇区は、△△区から同区の中央をって◇◇区を経て茅野市金沢の矢の口で国道20号線と結ばれる道路と、▲▲区から同区の西側を通り■区に通じる道路があります。

道路地図などの資料

4. 歴史的背景

〇〇区は、明治8年八ヶ岳山麓にある8つの新田村が1つになって原村が誕生した時点からの集落です。〇〇区の自治の発展としては、昭和50年代に区政運営に関心が高まり、今までのあり方を見直し、改革する機運から従前の区政に係わる規約や慣行を現実にあわせ条文化を行い、民主的で健全な発展及び区民の平等な権利と義務を保障し、区民相互の福利と融和を図ることを目的とした規約が制定されています。

その他参考資料

第2 〇〇区の現状と課題

〈〇〇区の良い所（のばしていけばいいところ）〉

- ・
- ・
- ・

〈〇〇区の改めたほうが良い所〉

- ・
- ・
- ・

1. 項目ごとの現状と課題

(1) 世代間交流とコミュニティー

【現状】

【課題】

(2) 地区内の各施設などの管理

【現状】

【課題】

(3) ◆◆◆

【現状】

【課題】

第3 私たちのめざす〇〇区のすがた

1. 安心して暮らせる地域

子どもからお年寄りまで誰でもが安心して快適に暮らせる地域づくりを目指します。

2. 若者定住施策の推進による交流とにぎわいのある地域

少子高齢化が進む中、若者が定住する施策を推進し、地域住民の世代間交流を促進するとともに、区外からの転入者とも交流も進め、地域の活力を高めるため、にぎわいのある地域づくりを目指します。

3. 集落営農の推進による豊かな自然観環境の地域

集落営農を推進し、退職者が意欲を持って農業に取り組める環境や、生産物に付加価値をつけるための農産物加工所や直売所の設置など女性が楽しく農業を行う環境を集落規模で取り組み、農地の荒廃を防止し、豊かな自然観環境が保たれる地域づくりを目指します。

4. 〇△◇の地域

第4 〇〇区の行動計画

〇〇区では、行政まかせの村づくりから住民自らが参加して行政と協働する村づくりを進め、ハード事業から手作りのソフト事業への転換をはかり、「安心して暮らせる地域」、「若者定住施策の推進による交流とにぎわいのある地域」、「集落農業の推進による豊かな自然観環境の地域」を実現していくため、次の行動計画を実践します。

1 私たち（区民）ができること

- ・
- ・

2 村と協働で行うこと

- ・
- ・